

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田葬斎場		No.	49
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	斎場、墓苑			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	西部
地区	鳥井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	令和4（2022）年度にコンサルに委託し、大田・温泉津・仁摩葬斎場を調査を実施、次期葬斎場の在り方の基礎資料を作成した。報告では大田葬斎場の大規模改修による長寿命化を実施し、温泉津・仁摩葬斎場については、適切な時期に閉鎖する内容であった。この報告をもとに大田葬斎場を大規模改修し、温泉津・仁摩葬斎場の閉鎖について方針を決定し、市民への理解を求めていく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の今後の在り方について検討 設備改修の年次計画の作成 指定管理者と協議		統合に向けた検討
第2期	2022年度	施設の現況、火葬件数、風習等を考慮したうえで、施設の統廃合を行うため、コンサルによる基礎調査を実施	進捗していない	大田葬斎場大規模改修の施工方針決定 施設の統廃合に伴う、議会、住民説明 火葬炉事業者の選定
	2023年度	大田葬斎場大規模改修の施工方針について検討・決定 施設の統廃合に伴う、議会、住民説明		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 63 年
建物延面積	679.34 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市葬斎場条例
設置(目的等)	墓地、埋葬等に関する法律(昭和23年法律第48号)による火葬の施設として大田市葬斎場(以下「葬斎場」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	7,144,750円	3 施設合計	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		7,144,750円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	19,679,000円	3 施設合計	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	2,750,000円	火葬炉耐火物修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	7,629円	建物保険	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		22,436,629円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-15,291,879円	市民一人あたり税金充当額	-470円/人
	延床面積あたり税金充当額		-22,510円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-41,896円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩葬斎場		No.	50
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	斎場、墓苑			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	令和4（2022）年度にコンサルに委託し、大田・温泉津・仁摩葬斎場を調査を実施、次期葬斎場の在り方の基礎資料を作成した。報告では大田葬斎場の大規模改修による長寿命化を実施し、温泉津・仁摩葬斎場については、適切な時期に閉鎖する内容であった。この報告をもとに大田葬斎場を大規模改修し、温泉津・仁摩葬斎場の閉鎖について方針を決定し、市民への理解を求めていく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の今後の在り方について検討 設備改修の年次計画の作成 指定管理者と協議		統合に向けた検討
第2期	2022年度	施設の現況、火葬件数、風習等を考慮したうえで、施設の統廃合を行うため、コンサルによる基礎調査を実施	進捗していない	大田葬斎場大規模改修の施工方針決定 施設の統廃合に伴う、議会、住民説明 火葬炉事業者の選定
	2023年度	大田葬斎場大規模改修の施工方針について検討・決定 施設の統廃合に伴う、議会、住民説明		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 62 年
建物延面積	202.50 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市葬斎場条例
設置(目的等)	墓地、埋葬等に関する法律（昭和23年法律第48号）による火葬の施設として大田市葬斎場（以下「葬斎場」という。）を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入		大田葬斎場	施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料		大田葬斎場	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用		なし	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,008円	建物保険	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,008円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,008円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-10円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-6円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池の原公衆便所			No.	51
大分類	14その他(普通財産を含む)				
小分類	公衆便所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	施設の老朽化が著しいこと。また中国自然歩道沿いで比較的近場にある西の原公衆トイレが改修済。利用者数も少ないと思われ、役割としては終了したと考えており、さらに年間26万円程度の維持管理費用がかかるため廃止の方針。しかし、景勝地で日本遺産の構成要素の浮布池の保存活用を進める地元は、令和3年に総意として存続を希望し、市に理解を求めており、引き続き廃止に向け地元と協議する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	建物調査 今後の方針の検討		
第2期	2022年度	地元まちづくりセンターや自治会と今後の方針について協議	進捗していない	引き続き地元と廃止に向けて協議を行う
	2023年度	地元まちづくりセンターや自治会と協議を続ける		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 38 年
建物延面積	17.93 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	現施設は廃止を原則とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	17,512円	フラッシュバルブ修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	270,435円	浄化槽、清掃ほか	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		287,947円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-287,947円	市民一人あたり税金充当額	-9円/人
	延床面積あたり税金充当額		-16,060円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-789円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大平山休憩所（室の内展望所）		No.	52
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画 （長寿命化計画） の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画） マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	廃止予定のため

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止 済
『該当する』を 選択した理由	R4年度解体・撤去済み							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2022年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 建物調査の実施。アスベストを含んだ天井ボードを撤去。		解体撤去を計画
第2期	2022年度 解体・撤去工事	目標・取り組みを達成	自然環境整備交付金の対象事業として解体・撤去を実施
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 40 年
建物延面積	48.85 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	4,099,000円	自然環境整備交付金	国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		4,099,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	8,481,211円	解体費・保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		8,481,211円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-4,382,211円	市民一人あたり税金充当額	-135円/人
	延床面積あたり税金充当額		-89,707円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-12,006円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津葬斎場		No.	145
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	斎場、墓苑			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	令和4（2022）年度にコンサルに委託し、大田・温泉津・仁摩葬斎場を調査を実施、次期葬斎場の在り方の基礎資料を作成した。報告では大田葬斎場の大規模改修による長寿命化を実施し、温泉津・仁摩葬斎場については、適切な時期に閉鎖する内容であった。この報告をもとに大田葬斎場を大規模改修し、温泉津・仁摩葬斎場の閉鎖について方針を決定し、市民への理解を求めていく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	施設の今後の在り方について検討 設備改修の年次計画の作成 指定管理者と協議		統合に向けた検討
第2期	2022年度	施設の現況、火葬件数、風習等を考慮したうえで、施設の統廃合を行うため、コンサルによる基礎調査を実施	進捗していない	大田葬斎場大規模改修の施工方針決定 施設の統廃合に伴う、議会、住民説明 火葬炉事業者の選定
	2023年度	大田葬斎場大規模改修の施工方針について検討・決定 施設の統廃合に伴う、議会、住民説明		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	225.46 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	土砂災害特別警戒区域

関連条例等	大田市葬斎場条例
設置(目的等)	墓地、埋葬等に関する法律(昭和23年法律第48号)による火葬の施設として大田市葬斎場(以下「葬斎場」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入		大田葬斎場	施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料		大田葬斎場	指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用		なし	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,172円	建物保険	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,172円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,172円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-14円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-9円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万漁港リサイクルボックス		No.	207
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	地元への移管もしくは廃止に向けた検討、協議を行う。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2023年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度		進捗していない	一部破損している箇所があり地元移管する場合は改修が必要。
	2023年度	地元への移管もしくは廃止に向けた検討、協議を行う。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	4.78 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	近隣住民が分別収集ステーションとして使用するため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	169円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		169円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-169円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-35円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	天河内リサイクルボックス		No.	208
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	仁摩
地区	天河内

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	地元への移管もしくは廃止に向けた検討、協議を行う。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
	評価が達成される年度	2023年度			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度		進捗していない	一部破損している箇所があり地元移管する場合は改修が必要。
	2023年度	地元への移管もしくは廃止に向けた検討、協議を行う。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	2.53 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	近隣住民が分別収集ステーションとして使用するため
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	131円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		131円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-131円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-52円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							